

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公表番号】特表 2005-536355 (P2005-536355A)

【公表日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-047

【出願番号】特願 2004-530816 (P2004-530816)

【国際特許分類】

**B 2 2 D 19/14 (2006.01)**

**C 2 2 C 21/12 (2006.01)**

**C 2 2 C 47/08 (2006.01)**

**C 2 2 C 49/06 (2006.01)**

**C 2 2 C 49/14 (2006.01)**

C 2 2 C 101/02 (2006.01)

C 2 2 C 101/04 (2006.01)

【F I】

B 2 2 D 19/14 B

C 2 2 C 21/12

C 2 2 C 47/08

C 2 2 C 49/06

C 2 2 C 49/14

C 2 2 C 101:02

C 2 2 C 101:04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 2 日 (2006.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の金属と前記第 1 の金属を補強するインサートとを含み、前記第 1 の金属がアルミニウム、およびその合金からなる群より選択され、前記インサートが実質的に連続したセラミック酸化物繊維と、アルミニウム、およびその合金からなる群より選択される第 2 の金属とを含み、前記第 2 の金属が前記実質的に連続したセラミック酸化物繊維を適所に固定しており、前記第 2 の金属が前記実質的に連続したセラミック酸化物繊維の長さの少なくとも一部に沿って延在しており、前記第 1 の金属と前記インサートの間に界面層があり、前記第 1 の金属と前記インサートの間の界面層ピーク結合強度値が少なくとも 100 MPa である金属マトリックス複合体物品。

【請求項 2】

実質的に連続したセラミック酸化物繊維と、アルミニウム、およびその合金からなる群より選択される第 1 の金属とを含むインサートを鋳型に配置する工程であって、前記第 1 の金属が前記実質的に連続したセラミック酸化物繊維を適所に固定しており、前記第 1 の金属が前記実質的に連続したセラミック酸化物繊維の長さの少なくとも一部に沿って延在しており、前記第 1 の金属が外側表面を有し、前記第 1 の金属の前記外側表面に Cu があり、前記第 2 の金属の厚さが少なくとも 5 マイクロメートルである工程と、

アルミニウム、およびその合金からなる群より選択される溶融した第 3 の金属を前記鋳

型に提供する工程と、

前記溶融した第３の金属を冷却して物品を与える工程と、

前記物品を熱間静水圧圧縮成形して請求項１に記載の金属マトリックス複合体物品を与える工程と

を含む金属マトリックス複合体物品の製造方法。